

# 会 告

# 社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	8月 1 日 (月) ~ 6 日 (土)	水工学に関する夏期研修会	土木学会	7号3ページ参照
	8月 8 日 (月) ~ 13 日 (土)			
	8月 25 日 (木) ~ 26 日 (金)	昭和 41 年度夏期講習会	東 京	7号2 "
関東支部	8月 4 日 (木) ~ 5 日 (金)	夏のエキスカーション	茨城・千葉	6号7 "
中部支部	8月 26 日 (金)	第2回見学会	名古屋市	7号6 "
西部支部	8月 19 日 (金) ~ 20 日 (土)	夏季講習会および見学会	大 分 県	7号7 "
そ の 他	7月 26 日 (火) ~ 29 日 (金)	応力測定に関する講習会	東 京	6号5 "
	9月 8 日 (木) ~ 9 日 (金)	第 10 回材料試験連合講演会講演集	京 都	5号4 "
	10月 24 日 (月) ~ 26 日 (水)	日本地震工学シンポジウム	東 京	5号5 "
	11月 18 日 (金)	第 13 回風に関するシンポジウム	東 京	7号5 "
	11月 24 日 (木) ~ 26 日 (土)	第 15 回レオロジー討論会	東 京	5号7 "
	11月 25 日 (金)	第 13 回橋梁・構造学研究発表会	土木学会	7号5 "
	12月 2 日 (金)	第 7 回構造の軽量化に関するシンポジウム	土木学会	7号6 "
<b>お知らせ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第 13 回海岸工学講演会講演募集</li> <li>■ 第 3 回衛生工学研究討論会原稿募集</li> <li>■ 第 16 回応用力学連合講演会講演募集</li> <li>■ 第 4 回岩盤力学に関するシンポジウム</li> <li>■ 第 7 回構造の軽量化に関するシンポジウム講演募集</li> <li>■ 関東支部局の移動について</li> <li>■ 耐風設計指針解説ご希望の方へ</li> </ul>			7号3 " 7号4 " 7号4 " 7号5 " 7号6 " 7号6 " 7号7 "

## 土木学会田中賞の設置について

橋梁・構造工学界の権威者 第 33 代本会会長 故 田中 豊博士(日本学士院会員・東京大学名誉教授)は昭和 39 年 8 月 27 日逝去されましたが、その後博士の御遺族から斯界振興の一助にもと金 100 万円の御寄附が土木学会にごまいりました。

一方、博士の御功績を偲び、これを記念する事業を企ててはと有志の方々が御相談の結果、田中 豊博士記念事業会(会長 内海清温氏)が発足、約 700 名の発起人の御協力により、昨年 6 月、この資金募集を開始しましたが、各方面の熱心な御賛同を得、昨年末その締切りを行いましたところ、醜金者として、個人 1 227 名、団体 116、金額 10 465 950 円、これに前述の御寄付を加え 11 465 950 円に達しました。

同記念事業会は所要経費を差し引いて 1 100 万円を当土木学会に寄付され、記念事業として橋梁・構造工学に関する優秀な業績に対して毎年“土木学会田中賞を授与する”ことを要望されてまいりました。

当学会はこの要望にこたえて、新たに田中賞を制定して昭和 41 年度から実施することに致しました。

詳細については学会誌 10 月号に土木学会賞の募集として発表する予定でございます。

## 事務局機構の一部改組について

このたび事務局の機構をつぎのように一部改めましたので、お知らせいたします。

総務課：委員会関係事務を事業課へ移す

事業課：担当事務の一部を総務課へ移す

昭和 41 年度夏期講習会案内

◀ 8 月 25 日 (木) ~ 26 日 (金) ▶

今年の夏期講習会は、時期を同じくして出版される「土木技術者のための振動便覧」をテキストとして行ないませんが、便覧中から特に一般の技術者が興味をもち、また実務上にも必須と思われるケースを選んで、わかりやすく説明を加えるものであります。多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 会 場：杉並公会堂（東京都杉並区上荻 1-23-15；国電または地下鉄，荻窪駅北・西口から約5分）
2. テ ー マ：「土木工学における振動と耐震の諸問題」
3. 参 加 費：会員 3000 円・会員外 4000 円・テキスト代共
4. 内 容：8 月 25 日 (木)

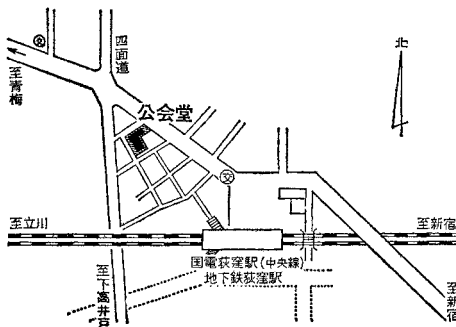
9.30~9.40	会長あいさつ	土木学会会長
9.40~10.30	① 振動学入門	北海道大学助教授 芳村 仁
10.40~11.30	② 振動測定一方法と解析法一	建設省土木研究所 大久保忠良
11.40~12.30	③ 振動を利用した建設機械	清水建設KK 武川恵之助
13.30~14.20	④ 建造物の振動	東京大学教授 久保慶三郎
14.30~15.40	⑤ 水流による建造物の振動	電力中央研究所 日野幹雄 同 桜井彰雄
15.50~16.20	⑥ 防振法・その他	法政大学教授 大地羊三

8 月 26 日 (金)

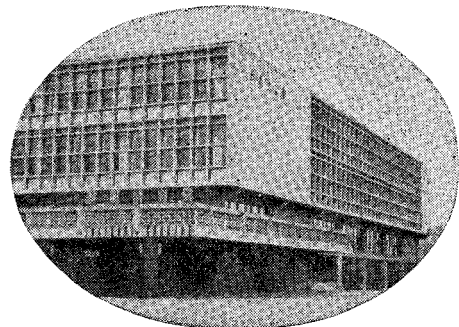
9.30~10.20	⑦ 振動を利用した地盤および建造物の調査	国鉄鉄道技術研究所 小林芳正
10.30~11.20	⑧ 土の動的性質	運輸省港湾技術研究所 土田 肇
11.30~12.20	⑨ 動的耐震設計	京都大学助教授 山田 善一
13.20~14.10	⑩ 耐震設計上の注意	八千代エンジニアリング 小寺 郎重
14.20~15.10	⑪ 地震時土圧・水圧	京都大学教授 後藤 尚男
15.20~16.10	⑫ 長大橋の耐風設計	中央大学助教授 岡内 功
16.10~16.20	閉会あいさつ	

5. 申込締切：8 月 10 日
6. 申 込 先：土木学会事業課（東京都新宿区四谷 1 丁目・電 東京 351-5138）

会場案内図



会場全景



## 水工学に関する夏期研修会

◀ 8月1日(月)～6日(土) ▶  
 ▶ 8月8日(月)～13日(土) ▶

水理学に関する最近の高度の知識を研さんし、その水工技術への応用を図るために、一昨年京都市、昨年札幌市において開催された水工学夏期研修会の好評に応え、本年も下記の要領により、第3回水工学に関する夏期研修会を開催いたします。関係各位の絶大なご協力をお願いいたします。

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂（冷房完備）
2. 研修内容の程度：大学卒業生対象
3. 題目と講師および日程表：

### (1) ダム・河川コース 8月1日(月)～6日(土)

日	時	9.30～12.30	13.30～16.30
1日(月)		河川の非定常流について 中央大学教授 工博 林 泰造	流砂と土砂混合流 九州大学教授 工博 椿 東一郎
2日(火)		河川の蛇行について 東京大学教授 井口 昌平	ダムの水理 電力中央研究所 安芸 周一
3日(水)	(特別講演)	電力中央研究所 工博 伊藤 剛	河道設計の考え方 建設省土木研究所河川研究室長 土屋 昭彦
4日(木)		河川の乱流現象 電力中央研究所 工博 日野 幹雄	水資源計画論 建設省関東地建河川部長 西川 喬
5日(金)		流出に関する諸問題 京都大学教授 工博 石原 安雄	地下水 東京大学教授 工博 嶋 祐之
6日(土)		質疑応答(主として演習について)	終了式

### (2) 海岸・港湾コース 8月8日(月)～13日(土)

日	時	9.30～12.30	13.30～16.30
8日(月)		高潮問題 九州大学教授 工博 篠原 謙爾	河口処理 建設省土木研究所 富永 正照
9日(火)		津浪 東京大学地震研究所 梶浦欣二郎	港湾工作物の水理的諸問題 運輸省港湾技術研究所防波堤研究室長 伊藤 喜行
10日(水)	(特別講演)	東京都立大学教授 工博 渡部 弥作	密度流の諸問題 東北大学教授 工博 岩崎 敏夫
11日(木)	(特別講演)	京都大学教授 工博 石原謙次郎 東海大学海洋学部部長 理博 速水 碩一郎	海岸侵食 京都大学教授 工博 岩垣 雄一
12日(金)		波圧論 大阪市立大学教授 工博 永井 荘七郎	漂砂 運輸省港湾技術研究所漂砂研究室長 佐藤 昭二
13日(土)		質疑応答(主として演習について)	終了式

4. 定 員：ダム・河川コース 100名、海岸・港湾コース 100名
5. 参 加 費：1コースにつき 5000円(ただしテキスト代を含む)
6. 申 込 方 法：受講希望者は勤務先、氏名、連絡先、およびコース名(ダム・河川コースまたは海岸・港湾コース)明記のうえ、1コースについて参加費 5000円をそえてお申込み下さい。
7. 申 込 先：土木学会事業課(東京都新宿区四谷1丁目 電話 東京 351-4133)
8. 申 込 期 限：7月15日(金)
9. そ の 他：テキストのみの頒価は未定です(追って会告)

## 第13回海岸工学講演会講演募集

第13回海岸工学講演会は12月初旬仙台市において開催することになりました。講演ご希望の方はつぎの要領によりふるってご応募下さい。なお、今回より同一内容のものを2つに分けること、および同一著者が重複して登壇することはご遠慮下さい。

1. 講演申込期日：1966年7月30日(土) 期限厳守
2. 講演原稿締切：1966年8月20日(土)
3. 講演申込みおよび原稿提出について：
  - ① 講演申込みは7月30日(土)までに講演題目・著者名(連名の場合には登壇者に○印をつける)、予定ページ数を記入してハガキで下記申込先へお申込み下さい(期限を過ぎたものは受けません)。
  - ② 同一内容の講演を一緒に2つ以上提出しても受けません。

- ③ 原稿一編の長さは原則として刷上り6ページ以内(400字詰原稿用紙30枚以内・図表・写真をふくむ)とします。
- ④ 原稿の内容により6ページ以内に収録することが困難な場合は著者の希望により10ページまでの超過を認めますが、この場合は著者に超過1ページにつき2000円負担していただくか、超過1ページあたり講演集を2冊お買上げいただきます。
- ⑤ 原稿には必ず超過希望の有無、およびつぎの事項を記入して下さい(A:負担金、B:講演集購入)。
- ⑥ 図面は必ずスミ入れし、説明文字は鉛筆書きにして下さい。
- ⑦ 別刷は希望により実費で差上げますので原稿に必要な部数をご記入下さい。
- ⑧ 著者校正ご希望の方はその旨明記して下さい。

4. 申 込 先: 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会海岸工学講演会係

### 第3回衛生工学研究討論会論文提出募集について

土木学会衛生工学委員会では一昨年は“下水の生物処理”、昨年は“水質汚濁に関する諸問題と凝集および沈殿処理”をテーマに討論会を開催し非常に好評を博しましたが、本年度は下記により第3回衛生工学研究討論会を開催いたします。論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 主 催: 土木学会衛生工学委員会
2. 期 日: 1966年11月(1ないし2日間)
3. 会 場: 土木学会土木図書館講堂
4. 論文内容: 1) 送配水について(計画・設計・施設・管理その他)  
2) 下水処理について  
3) その他(今年度は上記課題の他に自由課題を含む)
5. 申込方法: 7月15日までにB5判用紙に論文題目、研究者氏名(共同研究の場合は講演者に○印を付ける)、勤務先、連絡先を明記し、講演梗概(800字程度)を付して、土木学会衛生工学委員会宛お申込下さい。
6. 採 否: 論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。なお、採用決定のうへは改めて講演原稿の提出方をお願いします。

### 第16回応用力学連合講演会講演募集(開催地東京)一申込締切 7月30日(土)一

共 催: 日本学術会議力学研究連絡委員会・応用物理学会・造船協会・土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本航空学会・日本数学会・日本物理学会

幹事学会: 日本機械学会(東京都港区赤坂4丁目1番24号 日本規格協会ビル内)  
日本航空学会(東京都港区芝田村町1の3 飛行館内)

期 日: 1966年10月19日(水)~20日(木)

会 場: 東京大学工学部5号館講義室(東京都文京区本郷7-3-1)

申込要領: 講演申込は所属参加学協会を通じて行ない、参加学協会会員以外の方は直接幹事学会に申込むこと。講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。申込みはB5版の用紙に横書でつぎの事項を記載すること。

(ア) 講演題目、(イ) 概要200字以内、(ウ) 講演部門および項目名(プログラム編成の都合上「項目一下記参照」も必ず記載してください)、(エ) 講演ならびに連名者(協力)の各氏名(連名で講演する場合は登壇者に○印をつけること)、勤務先・通信先・学会員資格年令、(オ) スライド(35mmに限る)の有無

注(1) 講演時間は討論を含め1題目20分の予定、お申込の際は付記をご覧ください。

(2) 講演の採否は講演会運営委員会にご一任願います。

講演部門および項目:

- (第1部) 固体(弾性学、塑性学、粘弾性学、構造力学、材料強度、土質力学、摩擦など)
- (第2部) 流体(流体力学、空気力学、電磁流体力学、水力学、水理学、気象学、潤滑など)
- (第3部) 熱(熱熱力学、伝熱、物質輸送、熱機関、燃焼など)
- (第4部) 一般(一般力学、振動、波動、応用数学、自動制御、組織工学、計算機など)

申込期日: 7月30日(土) 所属学会必着

論文抄録集：聴講者用のテキストとして論文抄録集を作ります。講演者は内容のわかる抄録原稿をつくり講演申込学会へ下記により必ず期日までに原稿を提出してください。

- (ア) 論文抄録(原稿)提出期日8月31日(水)
- (イ) 必ず所定の原稿用紙を用いる。用紙は所属学会から講演申込者に送付します。所定以外の用紙に書いたものは受けません。
- (ウ) 原稿は用紙にも2枚以内(図表, 写真を含めて約3200字)にめいりょうにスミ書きすること
- (エ) 印刷はオフセットによるもので写真も入れられます。
- (オ) 原稿の書き方は用紙とともに送付します。

【付記】日本学術会議力学研究連絡委員会からのお知らせ

日本学術会議力学研究連絡委員会は、本講演会の欧文論文集を刊行する予定であります。  
本欧文論文集の原稿に関する執筆要領、用紙などについては追って同委員会から連絡します。

## 第4回岩盤力学に関するシンポジウム講演募集

土木学会岩盤力学委員会では、下記により第4回岩盤力学に関するシンポジウムを開催いたしますので、講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1966年11月中旬
  2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
  3. 講演申込要項：
    - (1) 内 容：岩盤力学に関する問題点の研究、実験、測定等。ダム、トンネル、爆破問題等も含む
    - (2) 講演申込締切：8月末日
    - (3) 申 込 先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会岩盤力学委員会
    - (4) 申 込 要 領：講演題目、氏名、勤務先および内容梗概(400字程度)を付して申込むこと。
    - (5) 原 稿 締 切：9月末日
- 注：1) 講演時間は、1件討議を含め30分程度を予定しております。  
2) 講演の採否その他については岩盤力学委員会にご一任下さい。  
3) 講演者には講演原稿をご執筆いただき、オフセット印刷のうえ、当日実費頒布する予定です。

## コンクリート構造及び合成構造に於る急速施工に関する研究発表会論文募集

### (第13回橋梁・構造工学研究発表会)

今年度は下記により、標題の研究発表会を開催いたします。論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1966年11月25日(金)
2. 共 催：日本学術会議橋梁・構造工学研究連絡委員会 日本建築学会・土木学会(幹事学会)
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂
4. 募集規定：
  - (1) 論文内容：鉄筋コンクリート構造、プレストレストコンクリート構造および合成構造を対象とし、そのプレキャスト工法、プレファブ工法など急速施工に関連ある研究の発表、構造計画、設計計算、製作等広汎な内容を対象とします。
  - (2) 申込方法：8月末日までに、論文題目、発表者氏名、勤務先および100字以内の論文梗概をそえて学会に申込んで下さい。採否は学術会議の上記研究連絡委員会にお任せ願います。採用のうへは10月15日までに講演原稿の提出方をお願いいたします。

## 第13回風に関するシンポジウム講演募集

◀11月18日(金)▶

恒例により標記シンポジウムを下記により開催します。講演希望者は下記要領によりふるってご応募下さるようお願い申し上げます。

1. 会 場：気象庁講堂(東京都千代田区大手町1の7)
2. 共 催：日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空学会・地震学会・日本地理学会・日本農業気象学会

(幹事学会) 日本林学会・土木学会

3. 講演申込期日：8月25日(木)

4. 申込方法：8月25日までに題目、氏名、勤務先、所要時間、スライドの有無を明記し、土木学会または所属学会宛お申込み下さい。

## 第7回構造の軽量化に関するシンポジウム講演募集要項

◀ 講演申込締切日 8月31日(火) ▶

1. 共 催：強化プラスチック技術協会・軽金属協会・高分子学会・自動車技術会・造船協会・土木学会・日本機械学会・日本建築学会・日本航空学会
2. 日 時：1966年12月2日(金)
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目)
4. 趣 旨：最近強化プラスチック・軽金属・高張力鋼・サンドイッチ材および各種複合材など軽量化用構造材料の開発がすすみ、これに応じて土木・建築・車輛・船舶・航空(宙)機および各種産業機械の構造法・構造工学がかなりの変革をとげつつあります。ここに、構造の軽量化という同一テーマのもとで、9学協会の各専門分野における研究成果を交換しあうことは誠に有意義であると思えます。ふるってお申込み下さい。
5. 講演申込方法：
  - ① 参加学・協会所属の会員は当該学・協会を通じて申込む。
  - ② 講演内容はすでに各学・協会で発表されたものでもよいが、最近の研究に属するものが望ましい。
  - ③ 講演時間は20分～30分間とする。
  - ④ 申込用紙にはつぎの事項を必ず記載すること。
    - a) 講演題目 b) 梗概約100字 c) 講演者(連名の場合は登壇者に○印をつける)の各氏名、勤務先、通信先、学(協)会員資格、年令、 d) スライド、8ミリ、16ミリ映写の有無
  - ⑤ 申込締切日 1966年8月31日(水)
  - ⑥ 前刷原稿提出締切日 1966年10月15日(土)
  - ⑦ 前刷原稿は400字詰原稿用紙10枚～15枚(図、表を含む)以内とする。  
講演申込者には原稿用紙を送付します。

## 関東支部事務局の移動について (東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内)

電話 東京 351-4133

従来、本部事業課内に置いていました関東支部事務局は、このたび総務課内へ移りましたので、お知らせいたします。なお、電話は従来通り(351)4133番をご利用下さい。

## 中部支部行事案内 (名古屋市中村区笹島町1の223 名古屋鉄道KK土木部庶務課内 電話 名古屋 571-2111)

### 第2回見学会開催について

◀ 8月26日(金) 13.30～ ▶

1. 見 学 先：名鉄バスターミナルビル工事
2. 集 合 場 所：名鉄百貨店正面入口付近
3. 容 内：概要説明 1時間  
バスターミナル工事見学 1時間30分
4. 人 員：80名
5. 会 費：無 料
6. 申 込 方 法：8月20日(土)までに最寄の幹事または中部支部へ勤務場所、氏名をご連絡下さい。

西部支部行事案内 (福岡市舞鶴町1丁目4の1 九州建設広済会内)  
電 福岡 74-1972

西部支部夏季講習会および見学会

◀ 8月19日～20日(土) ▶

1. 講習会日時: 1966年8月19日(金)
2. 講習会場所: 大分県 九重ハイランドホテル
3. 見学会: 1966年8月20日(土)  
別府観光港および大分国体競技場
4. 講習内容: 中級技術者を対象として下記機関に講師依頼中  
九州地建, 第四港建, 大分県, 道路公団, 国鉄, 九大, 熊大, 官大, 福大
5. 参加料: 講習会だけ 600円(テキストおよび中食代を含む)  
見学会とも 1000円(当日貸切バス代増)
6. 宿泊予約料: 300円(内払 1泊2食 1150円)
7. 申込金: 講習会プログラムおよび申込金は各機関にあります, 個人その他不省の向きは, 当支部へ請求して下さい。
8. 申込: 参加料に宿泊予約料を添えて8月5日までに支部あて申込んで下さい。先着 150名まで
9. 申込先: 福岡市舞鶴1丁目4の1 土木学会西部支部 (74) 1972

第2回「国土開発映画コンクール」作品募集

土木学会は昭和39年秋、創立50周年を記念して「国土開発映画コンクール」を開催いたしました, この実績にかんがみて、今後隔年に映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを、視聴覚によって、広くPRせんとするものであります。「第2回国土開発映画コンクール」作品をつぎによって募集いたします。ふるって応募のほどお願いします。なお、優秀作品は、当学会「建設技術フィルム・ライブラリー」として活用をはかる予定であります。

第2回国土開発映画コンクール要領

1. 内容: 国土開発に関し、土木技術を主とした映画
2. 規格: 16mm カラートーキー (上映時間 20分以上)
3. 審査: 土木学会映画審査委員会
4. 賞: 1等 1編 2等 2編 3等 3編 おのおの賞状ならびに賞牌
5. 発表: 1966年11月24日(土木学会創立記念日)
6. 締切: 1966年9月30日
7. 申込先: 土木学会総務課あて

“耐風設計指針(1964)解説”ご希望の方へ

土木学会では先に長径間吊橋の耐風設計に関する講習会を開催し、標記の図書をテキストとして使用しました。本書は、土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会耐風設計小委員会(委員長 平井 敦氏)がとりまとめたもので、台風常襲地域に位置するわが国において世界的規模の長大吊橋を架設するための基本方針を定めたものであります。この指針は、土木関係者のほか、気象、統計、航空、建築など各方面の専門家の知識を結集して作成したものでありますので、ぜひご一読下さるようおすすめします。

体裁: A4判 178頁(活版印刷) 定価: 1200円 送料: 300円(残部僅少・再版不能)

なお、先に予約募集しました本州四国連絡技術調査第1次報告書は、多少の残部がありますので、ご希望の方は7月30日までに土木学会へお申込み下さい。予定部数に達し次第、期日前でも締切ります。今回が最後の機会であります。

本州四国連絡橋技術調査第1次報告書	A4判 240頁	} 3冊上製箱入
附属資料: 耐風設計指針(1964)解説	A4判 178頁	
附属資料: 鋼材調査	A4判 102頁	

実 費: 5000円(送料 500円)